

一般社団法人 福島県作業療法士会
平成29年度 第4回理事会抄録

⇒承認

日時：平成30年1月15日（月）18：00～20：50
場所：太田総合病院保養所 緑風苑会議室
出席者
理事：長谷川、柴田、木村、田口、根田、今川、
松下、青木、富岡、岡本（佳）
委員長：齋藤
監事：渡邊、岡本（宏）
支部長：半谷、近澤、鳥越、宗像、小平
部員：高野、荒井、日下部

1. 会長挨拶

2. 定足数報告(総務部長)

出席者21名（理事12名中10名出席）委任状2名

3. 三役の会議等出席動向

月日	内容	場所	出席者
10/7	リレー・フォー・ライフ	福島市	柴田
10/22	健康長寿いきいき県民フェスティバル	郡山市	柴田
11/10	福島県相談支援専門職チーム会議	郡山市	長谷川・渡邊
12/13	福島県民医療推進協議会総会	福島市	柴田
1/27・28	第2回都道府県委員会(47委員会)	東京	長谷川・柴田

4. 議題

【検討・決議事項】

1. 平成30年度事業計画案・予算案

(1) 平成30年度 活動計画の基本方針【長谷川会長】

※詳細内容は別紙資料参照。

1. 地域包括ケアシステム構築関連体制への対応
2. 認知症対策事業への対応
3. 学術活動の強化・充実
4. 研修会の計画的開催と内容の充実
5. 事務局機能強化の継続
6. テーマごとの対応

これらを中心に来年度も事業を進めていく。⇒承認

(2) 福島県リハビリテーション専門職団体協議会 3
士会合同学会の開催の件【根田理事】

主催：福島県理学療法士会

平成30年9月2日（日）、ユラックス熱海

目的：・リハビリテーション専門職が一堂に会し自立支援への考えを深めるため

・食というキーワードで栄養士会や行政などの関係職種と結びつきを強化するため

テーマ「ともに学び、ともに歩む、地域に根ざした自立支援（仮）」

(3) 平成30年度事業計画案・予算案について【財務部長】※詳細は別紙資料参照。

収入：正会員 970名（新入会 50名）会費 485万、
新入会費 10万 来年度は学術集会在が合同開催のため学会収入は無し。リハ協議会より返金 444万円

収入計 19,938,686円

支出：総支出 6,990,500円

総務部の会場費に関しては変動の可能性あり。（総会会場決定後に確定）⇒承認

2. 各種規定の見直し等 ※詳細は別紙資料参照。

(1) 支部活動及び運営に関する規則

(2) 組織規程 組織図

→支部名称 郡山・県中支部⇒県中支部、会津・南会津支部⇒会津支部へ

(3) 会員の入会に関する規程

→協会の規定に合わせて第4条、第11条の改定、
会員資格を喪失した者の再入会に関して追加

(4) 会員の入会に関する規程 様式1-入会申込書

(5) 会員の入会に関する規程 様式2-賛助会員入会申込書

(6) 会員の入会に関する規程 様式3-退会変更届

*会員の入会に関する規程 様式4-結婚 FAX 送信表・通年用

→結婚に関する送信表は、福利厚生の部分と改姓届の部分の様式を分ける

(7) 正会員の休会に関する規程

→協会規定に基づき休会に関する規定を追加。

(8) 会員の処分に関する規程

→協会規定に基づき会員の処分に関する規程を追加。会員へ開示するかは検討が必要。また、他県士会で除名を受けた人に対して当県士会へ入会した場合の情報開示などどうするか、再検討が必要。定款には氏名の公表はあるため、それ以外の情報は公表しない。

(9) 費用弁償に関する規定 様式1-旅費請求書

(10) 費用弁償に関する規定 様式2-旅費報告書

⇒承認

3. 自立支援地域ケア会議への OT 派遣に関して【地域保健福祉部長】

※詳細は別紙資料参照。

現在 11 市町村のモデルに対して会議に参加している。現在は総務部が県から受けた依頼を各支部長へ連絡していたが、担当部署を設け、担当部署を通して各支部へ依頼をする形にしたい。

長谷川：主体は市町村で、窓口が分からない市町村について各県士会へ問い合わせをするという形。また、情報収集、蓄積などの意味合いで地域保健福祉部が入るといいか。

渡邊：地域保健福祉部は医療や介護とうまく連携をとって、地域での情報把握をする、また地域にでた人をつなぎ合わせるなどの役割を担うことができる部署ではないか。

宗像：自立支援型などの参加している人に関しては不安を持っている人も多い印象。そういった人がどういった情報を得て、誰に相談するかなどまとめ役がいると非常に助かると思う。

渡邊：底上げではないが、参加してくれている人が適切な情報を共有して行える環境をつくる、コーディネートできる人がいるといいのではないか。

近澤：今後地域ケア会議が増えていくなかで、誰に依頼していいのか、また参加される方が何を話していいかの受け口を作ること、また繋がっていない市町村に対する繋がり方の標準型があったほうが他の人に引き継ぎもしやすい。

長谷川：受け口を作るのは可能だが、指令を出すのではなく、実際に調整するのは実際に動く現場の方が一番好ましいと思う。広範囲の中で一つにまとめすぎてもタイムリーに動けない。そこは各支部にお願いするのが一番ではないか。

鳥越：支部長が変更するなどになった場合、すべてを引きつぐのは困難。支部長として相談できる理事・部署があるのは必要ではないか。

小平：いわきは毎週地域ケア会議を支部長だけで行っていたが、皆さん電話して協力を仰いだところ90%以上の方には協力を得られている。

長谷川：システム上は地域保健福祉部が好ましいとも思われるが、その時の状況もあるので、まず各支部長たちのネットワークを作ってもらい、また地域保健福祉部の出来る範囲と支部長の範囲を話し合ってもらおう。相談相手としては会長・副会長にしてもらうことではどうだろう。

渡邊：地域課題は支部長がすべてを解決するのは難しいかもしれないが、やはり解決できるのは地域である。難しいことは理事に相談すればいいし、地域で解決できる風土づくりは必要ではないか。また、支部長の権限や役割などは選挙でえらばれているわけではないので宙に浮いている状況でもあるので検討課題か。

木村：派遣会員や地域保健福祉部の情報管理や情報交流会の開催などできるところを支部長さんの意見をもらいながら進めていくということではいかがか。

【報告案件】

① 総会日程について

平成30年5月20日（日）ユラックス熱海

総会後に臨時理事会を開催予定。

② 理事役員の改選について(選挙管理委員会齋藤委員長)

平成30年3月21日公示 5月20日選挙

③ 各部・支部・委員会報告について

(1) 地域保健福祉部：自立支援型地域ケア会議へのOT派遣について

認知症関係のアンケート（別紙）

(2) 事業部：いきいき長寿県民フェスティバル(平成29年10月22日)事業部から3名参加

・平成30年度一般公開講座講師の選定について

④ 平成30年度補助金事業【事務局長】以下申請

(1) 平成30年度福島県地域医療介護総合確保基金事業補助金(介護分)事業提案

「多様な人材層に対する介護人材に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業」

認知症ケアに携わる人材育成研修事業・140万円

(2) 平成30年度福島県地域医療介護総合確保基金事業補助金(医療分)事業提案

「離職防止のための治療と職業生活の両立支援」

47万円 医療保険部

(3) 平成29年度地域医療介護総合確保基金事業提案(福島県リハビリテーション専門職協議会提出)

「介地域包括ケア構築に資するリハビリテーション専門職種人材育成・予防の推進に資するOT,PT,ST指導者育成事業」

⑤ その他

災害対策委員会：災害訓練の実施

平成30年2月3日(土) OT協会から安否確認メールを受けて根田委員長から各支部長へ配信、各支部長からのリターンを受けまとめて協会に報告する。

地域保健福祉部：地域ケア会議の報告書が上がってきたので、情報周知といった面でも報告書の提出をお願いしたい。

地域保健福祉部：地域ケア会議の報告書が上がってきたので、情報周知といった面でも報告書の提出をお願いしたい。

5. その他

岡本（監事）：県北の発達支援センターへの協力をお願い

6. 副会長挨拶

以上